

教科（ 保健体育 ） 科目（ 総合体育 ） 学年（ 3 ） 単位数（ 2 ）

類型（ 共通 ・ 文 ・ 理 ）

履修規定（ 必修 ・ 選択 ）

学習の目標		使用する主な教材					
1 健康や安全に留意し主体的、合理的、計画的な運動実践を通して健やかな心身を育成する。 2 生涯を通じてスポーツを継続する資質や能力を育む。 3 スポーツの歴史や文化的特性についての理解を深める。		・教科書『現代高等保健体育』 大修館書店					
期	月	学 習 内 容	学習の具体的内容とねらい	主な評価の観点			
				①	②	③	④
一 学 期	4	オリエンテーション 体づくり運動	・授業の内容、方法、評価などについて理解する。 ・集団としての個々の役割やルールの厳守、安全管理の必要性を理解するとともに、その実践を行う。	◎	○		
	5						
	6	創作ダンス	・仲間とダンスを創作し、表現する楽しさや、協力して作品を作り上げる喜びを感知する。		◎	○	
	7						
二 学 期	8	球技	・ゲームで通用する投球技術や守備力・攻撃力を高める。審判法も学び、協力して安全にゲームできるようにする。 ・P D C A サイクルで体力を向上させる。			◎	○
	9	体づくり運動					
	10	ニュースポーツ	・いろいろなニュースポーツの特性を理解し、積極的に活動することができる。 ・本校近辺の自然に親しみながら健康、体力の保持増進に努めることができる。		○	◎	
	11						
三 学 期	12	野外活動		◎			○
	1	総合体育のまとめ	・生涯を通じてスポーツを継続するために必要な資質や能力について理解させる。	◎		○	
備 考							
評価の方法		・出席状況 ・①「関心・意欲・態度」は、授業の導入で行われる北高体操・補強・集団走での取組を中心に声の大きさ、他者との積極的な関わり準備・後片付けなどの姿勢を評価する。 ②「思考・判断」は、それぞれの種目の特性をよく考え、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動を実践し自己の課題に応じた取組ができているか評価する。 ③「技能」は運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けているか評価する。 ④「知識・理解」は運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項及び生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する理論について理解しているか評価する。 以上4つの観点で総合的に評価する。					

